

令和元年度 第2回 広島県立大崎海星高等学校活性化地域協議会 議事要旨

【日 時】 令和元年12月12日(木) 15:00~16:10

【場 所】 広島県立大崎海星高等学校

【出席者】 (敬称略, 50音順)

川本 一穂, 越田 賢一, 高田 幸典, 取釜 宏行, 中原 健次, 松本 達彦 (委員6名)

中西 正典 (県教育委員会事務局1名)

【議事概要】

1 開 会

会長挨拶



2 説 明

「高校魅力化」の取組について

- (1) 地元の大崎上島中学校とは、本校説明会、中学校文化祭を通じて連携を深めた。
- (2) 「学校見学ツアー(8/2・3)」に22組が参加した。見学ツアー後も随時申込があり、最終的に33組が参加した。
- (3) 「SCHシンポジウム西日本(8/19・20)」において、地域・学校の取組並びに先進地域の関係者、教員、学生などと事例発表、情報交換を行った。
- (4) 大柿高校で開催した「島嶼部合同研修会」で、本校の取組を報告した。
- (5) 御調高校、民泊で来島した東京都立日野台高校と生徒同士の交流を行った。
- (6) 視聴覚教室のスパークボードを使って、早稲田大学小林ゼミ発表会への遠隔参加を行った。
- (7) 「みりょくゆうびん局」の活動及び取組を、フェイスブックで随時発信した。
- (8) 県外の大学、教育委員会、高校関係者から多くの視察があった。

3 協 議

「活性化の方策」について

- (1) 「高校魅力化」の取組の推進により、生徒募集については軌道に乗っている。このまま、順調に推移していけるよう取り組んでほしい。
- (2) ランクをもう1つ上げるために、限定的でない取組を進めてほしい。例えば、「もっと先輩、大人の方と出会う機会を設定すれば、3年間の意識、意欲の向上がさらに図れる」と思われる。
- (3) 本校のこの木造の校舎は、大変すばらしく特徴的である。生徒からのアイデアも集めながら、学校の施設などもさらにPRできるよう努めてほしい。

4 まとめ

5 閉 会

会長挨拶

